

【参考】ICT 用語集

ア行～

インターネット【Internet】

アメリカ国防省の高等研究計画局の支援を受けたアルパネット（Arpanet）から発展した地球規模のデータ通信ネットワーク。通信回線を介して、世界各地の個人や組織のコンピュータがつながっている。単にネットともいう。

ウェアラブル端末

身につけて持ち歩くことができる情報端末の総称。携帯情報端末機能を持つ腕時計や頭部に装着するディスプレイなどはすでに製品化されている。

オープンデータ【Open Data】

特定の情報を、第三者が自由に使い再利用や再配布できるように公開すること。特に、行政などが持つ公益性の高い情報を、インターネットを通じて再利用できるように公開すること。

クラウドコンピューティング【Cloud Computing】

データサービスやインターネット技術などが、ネットワーク上にあるサーバ群（クラウド（雲））にあり、ユーザは今までのように自分のコンピュータでデータを加工・保存することなく、「どこからでも、必要な時に、必要な機能だけ」を利用することができる新しいコンピュータ・ネットワークの利用形態。

携帯情報端末

ノートパソコン、スマートフォン、タブレット端末、携帯電話など、携帯できインターネット通信等が使用できる端末の総称。

公衆無線 LAN【Local Area Network】 スポット

無線通信でデータの送受信をする LAN を経由して、インターネットの接続ポイントを設置し、無線でのインターネット接続サービスを不特定多数の利用者に提供している空間・場所。

スマートフォン【smartphone】

コンピュータ機能を兼ね備えた携帯電話。携帯電話回線によるデータ通信と、無線 LAN によるデータ通信機能を備え、パソコンと同様のソフトウェアやサービスを利用できる機種が多い。

タブレット【tablet】

キーボードが無く、タッチパネルで操作するコンピュータ。ノートパソコンからキーボードが無くなりタッチパネルになったタイプと、スマートフォンと同様の機能を持ちサイズが大きくなったタイプの2種類に大別される。

ニコニコ動画

平成18年(2006)にサービスが開始された動画配信関連サービス。動画配信サイトで配信されている動画の特定の再生時間上にユーザがコメントを投稿し表示できるコメント機能やユーザ同士が交流できる機能を数多く備えていることが特徴。

ブログ【Blog】

個人などが日記的に記事を掲載するWebサイト。Webサイトに掲載した日誌「web log」の略語。ジャーナリストや事件の当事者などが生の情報を掲載するブログがアメリカで相次いで開設し、社会的な影響力を持つようになった。別のブログの関連記事へリンクして自分のブログへの逆リンクを掲載する「トラックバック」という機能など、現在では相互にコミュニティを形成するための支援機能が充実したサービスが多数提供されている。

マイナポータル

マイナポータル（情報提供等記録開示システム）とは、行政機関がマイナンバーの付いた自分の情報をいつ、どことやりとりしたのか確認できるほか、行政機関が保有する自分に関する情報や行政機関から自分に対しての必要なお知らせ情報等を自宅のパソコン等から確認できるものとして整備するもので、平成29年1月の開設を予定しています。

モバイル

情報機器や通信機器などが持ち運んで利用できることや、屋外を移動しながら使用できること。また、無線などの通信システムを用いて、移動しながら利用できることを表すことが多い。

ユビキタス環境

いつでもどこでも必要な情報にアクセスすることのできる環境。

レイヤ

レイヤとは、「層」を意味し、「各種データが描かれた透明な板」を指します。GISでは、基本の地図に各種データが描かれた「層」を重ねて活用することで「見やすい地図画面」を表示しています。

A~ (アルファベット)

CIO【Chief Information Officer】

企業内の情報システムや情報戦略の最高責任者。

Facebook

ハーバード大学の学生が2004年に開始したソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)。当初は大学生限定だったが、その後一般ユーザに開放された。情報共有やコミュニケーション、人脈を維持・拡張するためのツールとして米国や日本など世界中に広く普及している。

GIS【Geographical Information System】

地理情報システムと訳される。デジタル化された地図(地形)データと、統計データや位置の持つ属性情報などの位置に関連したデータとを、統合的に扱う情報システム。地図データと他のデータを相互に関連づけたデータベースと、それらの情報の検索や解析、表示などを行なうソフトウェアから構成される。データは地図上に表示されるので、解析対象の分布や密度、配置などを視覚的に把握することができる。道路や建物に関するデータとGPS(全地球測位システム)を組み合わせたカーナビゲーションシステムもGISの応用例の一つである。

ICT【Information and Communication Technology】

インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー。「情報通信技術」の略。コンピュータやデータ通信に関する技術を総称的に表す語としてこれまで「IT」が用いられてきたが、欧米ではICTと呼称されるのが一般的であるため、政府や情報関連企業なども「IT」の代わりに「ICT」と呼称するようになった。

ICTリテラシー【Literacy】

リテラシーとは、ものごとを使いこなす能力のこと。ICTリテラシーとは、情報関連技術を使いこなす能力を指す。体験やメディアを通じて得られる大量の情報の中から必要なものを探し出し、課題に即して組み合わせたり加工したりして、意思決定したり結果を表現したりするための基礎的な知識や技能の集合である。

PMO【Project Management Office】

プロジェクト・マネジメント・オフィス。大規模な組織において、個々のプロジェクトが円滑に実施されるよう支援することを目的に設置される専門部署。「Program Management Office」とも呼ばれる。

SNS【Social Networking Service】

登録した会員相互のつながりをサポートする機能が特徴の、コミュニティ型のWebサイト。趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供する、会員制のサービス。代表例として、Facebook、mixi などがある。

SLA【Service Level Agreement】

サービス提供者と利用者との間でサービス内容に関し明示的になされた合意。特に通信サービス事業者によくみられ、具体的なサービス内容を定量的に明文化し、提供者はこれを保証することで他の事業者との差別化を図ることや、サービスに応じた適正な対価を求めるためなどに導入される。

Twitter

2006年にサービスが開始された、今していること、感じたことなどを「つぶやき」のような短い文章にして投稿するブログサービスの一つ。リアルタイム検索や、流行のトピックの表示機能などにより、「今」何がつぶやかれているのかを知ることができる。「twitter」とは英語で「さえずる、ぺちやくちゃ喋る、くすくす笑う」といった意味である。日本語では「ツイッター」「トゥイッター」と発音される。

YouTube

2005年に設立された動画コンテンツ共有サイト。会員登録をすることによって誰でも動画ファイルをアップロードし公開することができ、公開された動画は誰でも無料で閲覧することができるため、非常に多くのユーザを獲得している。違法コンテンツが公開されるといった問題点も指摘されているが、多くの企業などが積極的に利用するなど、大きな影響力を持っている。

Web【World Wide Web】

インターネットで標準として採用されているコンテンツ表示仕様。現在ではインターネットを意味する単語としても用いられている。

Wi-Fi【Wireless Fidelity】

無線 LAN の標準規格である「IEEE 802.11a/IEEE 802.11b」の消費者への認知を深めるため、業界団体の WECA が名づけたブランド名。